

出港年月日	年 月 日	記録者：
-------	-------	------

健康・アルコール等検査記録

検査確認者 業務主任者 _____

氏名	検査時間	検査場所	検査器 (数値)	酒気帯び の有無	業務の実行 可否	備考

出航前の確認チェック（空欄にチェック）

検査確認者 業務主任者 _____

船体の検査	
	船体に亀裂や破口はないか。
	エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないか。
エンジンの検査	
	航海計画に見合った燃料は十分にあるか。
	燃料コック（バルブ）は開いているか。 燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないか。
	エンジンオイル（潤滑油）の量は十分か。
	冷却清水の量は十分か。
	バッテリーの液量は十分か。また、ターミナルは十分締め付けられているか。 バッテリーの耐用年数は切れていないか。
救命設備等その他の検査	
	救命胴衣を着用したか。利用者に救命胴衣を着用させたか。
	通信手段の充電量、予備バッテリーを確認したか。
	気象・海象情報、水路情報は確認したか。
	船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合した通信設備及び救命設備を搭載しているか。
	落水者救助用の梯子は使用可能か。
	釣具・漁具等が安全な状態に設置・格納されているか。
エンジン始動後のエンジンの状態確認	
	回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計、電圧計は正常値を指しているか。
	冷却用の海水は通常どおりの量や勢いで排出されているか。
	エンジンから異常な音やにおいは出していないか。
備考（異常時の対応等）	

別記様式第2号 乗務記録 (様式例)

年月日			
開始時刻			
終了時刻			
開始場所 (終了場所)			
乗船した船長の氏名			
乗船した遊漁船業務主任者の氏名			
乗船した従業者の氏名			
遊漁船の名称			
気象及び海象等の状況			
案内した漁場の位置			
利用者の数			
利用者が採捕した主な水産動植物			
重大な事故又は海難その他の異常の事態が発生した場合には、その概要及び原因※			
気象若しくは海象等の状況が悪化した場合又は海難その他の異常の事態が発生した場合には、連絡責任者に連絡した旨及び内容			
遊漁船業者に対し、出航判断に関する意見、利用者の安全の確保及び利益の保護並びに漁場の安定的な利用関係の確保に関する意見をした場合には、その旨及び内容			
その他			

※法第19条に基づき都道府県知事に報告する重大事故に加え、重大事故ではない事故等(海難その他の異常の事態)についても、乗務記録には記載し、日頃の安全管理に活用します。